

活動報告

令和元年度 新潟県厚生連 リハビリテーション技術者協議会学術活動

三条総合病院、リハビリテーション科：理学療法士

お ぐろ たか お
小黑 孝夫

新潟県厚生連リハビリテーション技術者協議会には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・マッサージ師が在籍し、令和元年10月現在、14病院7老健施設及び5訪問看護ステーションに275名が勤務しております。

今年度の協議会では、新人教育および年代別研修システムの充実に取り組みました。新人研修を前期後期の2回とし内容の充実を図りました。また、中堅者研修を新たに設定致しました。部門ごとの研修会も専門技術の向上を目指し、多くの参加が得られています。

地域包括ケアシステム構築が進む中、多職種連携やリハビリテーションの質の向上も求められています。また、多様な対象者のニーズに対応していくためにも、知識や技術の習得、研鑽を目的として、内部研修や外部研修を充実させていきたいと思っています。

以下、令和元年度の各研修会の活動内容を示します。

1. 内部研修

○新人研修会・前期

日時 平成31年4月21日（日）

会場 長岡中央総合病院 検診センター会議室

講義 「新潟県厚生連リハビリテーション科の概要」「医療安全と感染対策の基礎」
「リハビリテーションとコンプライアンス」「施設基準と診療点数について」
「疾患別リハビリテーション」等

講師 協議会役員および教育委員、他

参加者 10名

○リハビリテーションプリセプター研修会

日時 平成31年4月21日（日）

会場 長岡中央総合病院 講堂

講義 「リハビリテーション教育プログラムについて ～育成の目的、他施設・他職種の取り組み紹介～」
「新人研修プログラム概要・運用等について」「取り組み状況の紹介」

講師 長岡中央総合病院 高頭美恵子 佐渡総合病院 本間 宏彰

新潟医療センター 松岡 潤

参加者 31名

○技師長・主任研修会

日時 令和元年8月24日（土）

会場 長岡中央総合病院 検診センター会議室

講義 「厚生連の現況と地域医療が継続するために」

講師 本部企画部 友田 理 企画調整室室長
・各施設プレゼンテーション

参加者 21名

○リハビリテーション中堅者研修会

日時 令和元年9月15日（日）

会場 長岡中央総合病院 講堂

講義 「クリニカルクラクシップについて」

講師 目白大学保健医療学部 小林 幸治 先生

参加者 64名

○新人研修会・後期

日時 令和元年10月22日（火・祝）

会場 新潟医療センター 講堂
講義 「呼吸リハビリ」「循環器疾患」「がんリハビリテーション」「神経難病」
「精神科作業療法」「住環境整備」「介護報酬について」
講師 協議会役員および教育委員、他

参加者 9名

○理学療法士研修会

日時 令和元年6月23日（日）
会場 長岡中央総合病院 講堂
講義 「高齢者の内部疾患におけるリハビリマネージメントについて」
講師 済生会新潟病院 リハビリテーション科 宗村 和幸 先生

参加者 75名

○作業療法士研修会

日時 令和元年6月2日（日）
会場 新潟医療センター 講堂
講義 「臨床実習指導でMTDLPを活用してみよう ～作業療法のクリニカルリーズニングを学ぼう～」
講師 新潟リハビリテーション病院 リハビリテーション科 村山 拓也 先生

参加者 47名

○言語聴覚士研修会

日時 令和元年7月20日（土）
会場 新潟医療センター 講堂
講演 「高次脳機能障害者の復職支援について」
講師 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 北上 守俊 先生

参加者 26名

○リハビリテーション技術者研修会

日時 令和元年11月24日（日）
会場 長岡中央総合病院 講堂
会員発表

座長 豊栄病院 金子 友也

- 1) Wallenberg 症候群に対する理学療法経験
村上総合病院 理学療法士 地濃 勇介
- 2) 当施設における経口摂取に対する実態調査 ～KT バランスチャートを使用してみよう～
あがの市民病院 理学療法士 梅津 大助
- 3) 当院訪問リハビリテーションの現状と課題 ～終了と新規受け入れ状況について～
あがの市民病院 理学療法士 長谷川俊輔
- 4) 小千谷総合病院へ転院患者の転帰と食事状況の推移について
小千谷総合病院 言語聴覚士 五十嵐春奈

新人会員発表

座長 あがの市民病院 二宮由香里・渋谷 裕香

- ① 左人工骨頭置換術後、疼痛と恐怖心があり筋力向上に難渋した症例
あがの市民病院 理学療法士 目黒 楓也
- ② 脳梗塞重度右麻痺患者に対して荷重感覚に着目し治療を行った1例
村上総合病院 理学療法士 櫻井 命
- ③ 再び経口摂取が可能になった仮性球麻痺の一症例
村上総合病院 言語聴覚士 木村 薫乃
- ④ 入院後の症状増悪で重度 Dysarthria を呈した症例 ～心理的变化に合わせた介入を通して～
佐渡総合病院 言語聴覚士 近藤 美咲
- ⑤ 人工膝関節置換術後の理学療法 ～大腿四頭筋収縮不全を呈した症例を経験して～
新潟医療センター 理学療法士 圓山 苑
- ⑥ 麻痺側下肢の荷重時痛に対し、段階的荷重練習を行いトイレ動作の介助量が軽減した症例
新潟医療センター 理学療法士 道見 啓介
- ⑦ 重度左片麻痺は残存したが自宅でのトイレ動作を家族介助にて獲得した症例
新潟医療センター 理学療法士 齋藤 健郎

座長 あがの市民病院 長谷川俊輔・荒木 宏治

- ⑧ 既往の脳梗塞により左不全麻痺を呈した症例 ～退院後のよりよい生活を目指して～
糸魚川総合病院 理学療法士 近藤 千彰
- ⑨ 全人工股関節置換術後に対する ADL 動作指導の反省と今後の課題

- 上越総合病院 理学療法士 清水 拓真
⑩ 早期退院となった難病リハビリ利用者との関わりを通して学んだこと
上越総合病院 作業療法士 本間 拓実
⑪ 呼吸苦に対して負荷量の調節に難渋した症例
瀬波病院 理学療法士 成澤穂乃佳
⑫ 他職種連携の重要性を再認識した症例
糸魚川総合病院 理学療法士 大矢 章人
⑬ 趣味の書道を導入し ADL の自立度向上と自発的な対人交流の拡大に至った症例
新潟医療センター 作業療法士 加藤 瑞輝
⑭ 不安の訴えに対してアプローチしたことでトイレ動作を再獲得できた症例
新潟医療センター 作業療法士 新野 瑞穂

参加者 106名

2. 外部研修

第54回日本理学療法士学会大会（分科会）

第17回日本神経理学療法学会学術大会（神奈川県横浜市）

令和元年9月28日（土）～29日（日）

高橋 祐太（新潟医療センター）

地濃 勇介（村上総合病院）

第2回がん理学療法部門研修会（埼玉県さいたま市）

令和元年10月5日（土）～6日（日）

丸山 辰徳（柏崎総合医療センター）

森山 洋平（長岡中央総合病院）

第6回日本呼吸理学療法学会学術大会（愛知県名古屋市）

令和元年11月10日（日）

野口 綾利（長岡中央総合病院）

第24回日本基礎理学療法学会学術大会（新潟県新潟市）

令和元年11月30日（土）～12月1日（日）

奥野 周平（佐渡総合病院）

小田 優貴（佐渡総合病院）

第6回日本スポーツ理学療法学会学術大会（東京都）

令和元年12月7日（土）～8日（日）

永野 達恭（新潟医療センター）

第6回日本地域理学療法学会学術大会（京都府京都市）

令和元年12月14日（土）～15日（日）

村山 恵子（小千谷総合病院）

野口 千穂（三条総合病院）

第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会（群馬県前橋市）

令和元年10月26日（土）～27日（日）

小林 諭（小千谷総合病院）

目黒 楓也（あがの市民病院）

第31回日本運動器科学会（岡山県岡山市）

令和元年7月6日（土）～7日（日）

渡邊 博史（新潟医療センター）

第53回日本作業療法士学会学術大会（福岡県福岡市）

令和元年9月6日（金）～8日（日）

小日向由江（上越総合病院）

小熊 ゆみ（長岡中央総合病院）

鶴若 大祐（新潟医療センター）

板垣 真子（新潟医療センター）

第20回日本言語聴覚学会（大分県大分市）

令和元年6月28日（金）～29日（土）

西澤 伸（糸魚川総合病院）

若杉 美華（長岡中央総合病院）